

見出川のカニ

サワガニ (サワガニ科)

水のきれいな上流部に棲む。サワガニは幼生の期間は卵の中で過ごすため、幼生時代はなく、子ガニとして孵化する。卵からかえった子ガニはしばらく母ガニに抱き着いてくらす。甲羅の幅は2~3cm程度。



モクズガニ (モクズガニ科)

川の中流域から河口付近にみられる。大きくなると、大人の握りこぶし(甲羅の幅が6cmぐらい)程度になる。はさみにやわらかい毛の房がある。秋になると繁殖のため川を下る。海で卵からかえった幼生はしばらく海で過ごした後、川を上る。



アカテガニ (ベンケイガニ科)

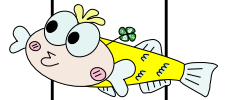
河口近くに棲み、海から離れていても生活できる。海岸や川辺の岩場、土手、石垣にも棲み、カニの中でも広い範囲で生息する仲間。春から秋にかけて道や家に入り込んだりすることもある。甲羅の幅は3cmぐらい。

文・貝塚市立自然遊学館

絵・NPO法人グリーンパーク熊取

過去の生物調査より、上流(永楽ダム上流、助谷)にはサワガニが生息していることが確認されている。中流域にはカニは確認されず、アメリカザリガニが確認されている。下流(見出橋)ではクロベンケイガニ(ベンケイガニ科)とアカテガニが確認されている。河口では、阪神高速4号湾岸線と府道臨海線(29号線)より下流は大規模な護岸改修が行われたため干潟に棲む生きものの確認は行われていない。

みでがわ通信



H24
年
9
月

No.9

見出川流域水循環再生協議会

サワガニのくらし

一生を淡水域で過ごす唯一の蟹。見出川上流に生息するサワガニは、一生を通じて海とは無縁の生活をしていきます。他のアカテガニやモクズガニなどの蟹は、幼生を海に放さないと成長できません。

数少ない卵を大切に育てます。サワガニは、他のカニと比べて非常に大粒の卵を、数少なく産卵します。幼生は卵の中で変態して孵化するときは小さなお腹の姿になります。この稚ガニは、しばらくは母ガニのお腹にしがみついて守られます。お真のようにはみたくも守られませんが、かえり出会う子どもも大切に抱かれています。

サワガニは、外国にはいません。育つのは、川の流れにまかせて遠くまで運ばれます。新天地での生活を開拓するチャンスが大きい。サワガニは、一方、見出川上流の川が、遠く離れた川の上流にまで行けません。実は、北海道にはいませんが、

広く日本各地で生活しています。しかし、地域ごとに独自の生活をしていくために、生育集団ごとに遺伝子レベルの分化が認められていきます。このため、むやみに他の場所から移入したり持ち出したたりすることは避けたいものです。同様のことが、ホタルや今や絶滅危惧種の仲間にも挙げられているメダカなどにも言えることです。

サワガニは、きれいな水の指標生物です。これからもサワガニの生活を見守っていききたいと思

(見出川流域水循環再生協議会
副会長 田中正規)



サワガニの
あかちゃん



「見出川たんけん」で発見したこと！

熊取町立東小学校3年生



トドクミツネル

3.水に川の上に石や
なまめとみちをこま
らいていました。大きい
て小さいのもおなれにお
しかいてたのもいました。
なまめりろろ



むかいちな

見出川には、カニがたくさん
いました。数えよと45匹
いました。カニのしゅん
いは、ワカニ
たそうです。本当に多
かったの
で、びっくりしました。
高田 記

子供たちはおなかを赤
く、手や足などは黒
く、静かにのせて
みると、すぐ息をい
て、かわいげな
りて、見出川たん
けんは、すく
さい思っています。

ついで



甲斐 ゆづみ

友だちがドツウを、つ
かまえました。ひげが
はえていました。す
か
ったです。自
せんがい、
はいだ
たのてすし
かた
とま
寺おか とも



にぶつれあ



船井 海里

つかまえたのは、アメン
ホいっはいてした。ひ
んびんはねるから、
しよい
です。つかま
えるの
か、たの
しいです。
たぐさ
ほの



カワニナ
かづ山 真な

今年も子供達が見て、
ふれて豊かな自然を
感じよう！をテーマに
見出川で活動しました。

見出川について

見出川協議会から見出川について、何か書いて欲しいとの依頼を受け、思案にくれまいたが、行政の立場から私の知っていることを書こうと思います。

まず、「見出川」の位置関係なんですが、熊取町の東側を南北に流れている治水にとっても、農業にとっても非常に大切な川となつていきます。ちなみに熊取町の中央部には住吉川と和田川、西側には雨山川が流れており、この四つの川のおかげで、今まで熊取町には大きな災害がなかったと言っても過言ではありません。

次に、この川は誰が管理しているのかと言いますと、七山地区に「柏木橋」という橋があります（七山病院の東側にあります）。この橋から下流（海側は）大阪府が、その橋から上流は熊取町が管理しています。なぜ同じ川なのに管理が大府と熊取町に別れているのか、かといいますと、先程の「柏木橋」から海までの下流区間は二級河川、上流区間は準用河川（三級河川）ではありません）、普通河川となつており、二級河川は大阪府、準用河川、普通河川は市町村が管理することになっていきます。ちなみに淀川、大和川は一級河川となつており、国が管理しています。なぜ「柏木橋」で二級河川と準用河川に別れているのかはわかっていません。今後、機会をみて勉強

「見出川クリーン作戦」



開催日 H24年10月20日(土) 9時半～12時
場所 見出川 熊取町高田地区
高田ちびっこ広場(集合)付近
主催 リフレッシュリバー・熊取推進会議

みんなで見出川をきれいにしよう！

見出川流域水循環再生協議会
【連絡先】大阪府 泉州農と緑の総合事務所
環境指導課 電話 072-439-3601

強していきたいと思います。管理していきたいことは、どの行政が管理しているかが、川はつながって流せば必ず下流まで流れず、上流で汚れた水を流せば必ず下流を通って海まで流れます。

「見出川」の上流に位置する熊取町として、「見出川」にゴミを流さない、汚れた水を流さないことが責務だと思つていきます。これ「見出川」をきれいな川にしたいと考えています。

(熊取町事業部水とみどり課 課長 大西順二)